

第五十九回帝國議會 衆議院

寄生蟲病豫防法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案 寄生蟲病豫防法案(政府提出) 明治四十年法律第十一號中改正法律案 (竊豫防ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和六年二月二十七日(金曜日)午後二時十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中馬 興丸君

理事 中崎 俊秀君

理事 松山常次郎君

中島 琢之君 石塚 讓君

永田 良吉君 野方 次郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 齋藤 隆夫君

內務省衛生局長 赤木 朝治君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務技師 高野 六郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

寄生蟲病豫防法案(政府提出)

ナ狀況ヲ見テ、非常ニ驚イテ居ッタノデアリマス、其趣旨ヨリ小學校兒童八百萬人ヨリ、セメテ寄生蟲ノ蝨蟲ダケデモ艾除スルコトガ出來ナイデアリマセウカ、是ハ單リ保健衛生ノミデナク、學業ノ進歩ノ上ニモ非常ナ影響ガアル、殊ニソレガ病的トナリ、非常ナ症狀ヲ呈シ、後ニ肺ノ壞疽ヲ起シタヤウナ例ヲ見テ居ル、今回御提案ニナッタ所ノ四ツノ病氣ノ中、住血吸蟲、肝臟「デストマ」モ間々見ルコトハアリマスガ、多クハ十二指腸蝨、蝨蟲ヲ見テ居ルノデアリマシテ、非常ニ心配シテ居ッタノデアリマス、是ガ艾除ヲスルニ付テハ、當局ニ餘程ノ忍耐ト熱誠ガナケレバナラス、國家ノ財力ト權力トヲ以テ、是ガ豫防撲滅ヲ圖ラナケレバナラス、此法ヲ設ケタ以上ハ、此法律ガ完全ニ施行サレルヤウニシテ貰ヒタイ、小學校兒童ニ左様ナ蝨蟲ガアルト、是ガ大人ニナッタナラバ、尙ホ一層勞働力ニ關係シ、産業ノ能率ヲ阻礙スルコトガ多大デアル、茲ニ一例ヲ舉ゲレバ、男女通計シテ千五百萬人ノ勞働者ガアルトシテ、榮養不良ノ爲ニ疲勞素ガ發生シ、一時間五錢トシテ三時間ノ損失ヲストスレバ、我が國民ハ勞働ノ力ガ

足ラナイガ、ソレデモ三億萬圓ノ多數ニ上ル、故ニドウシテモ國民ノ身心ヲ健全ニスルコトガ今日ノ義務デアアル、況ヤ斯ノ如ク思想ノ動搖スル今日ニ於テ、身體ガ不健康デアルト、種々ノ危険思想ヲ懷クカラ、茲ニ身心ノ極メテ完全ナル人間ヲ作り、國民ノ健康狀態ヲ實際ニ改善スルコトハ、時弊ヲ救フ急務ナリト信ジマス、其他優生學ノ上カラ國民ノ種族ヲ改善シ、人口問題ノ調節ヲ圖リ、食糧問題ノ解決ヲシ、或ハ疾病ニ罹ラスヤウニ豫防醫學ノ總テヲ攻究スルニ付テハ、今日ノ衛生局位デハ迎モ出來ナイ、ドウシテモ衛生省ヲ作ッテ、國家ノ大ナル權力ヲ以テヤラナケレバナラス、勿論此事業ハ非常ニ莫大ナル金ヲ要スルノデアリマスガ、當局ハ衛生省設置ノ意思ガアルカナイカ、吾々ハ不日衛生省設置ノ建議ヲスル積リデアリマスガ、當局ハ之ニ對シテ如何ナル御意見ヲ持タレルカ、殊ニ衛生大臣トシテ令名噴々タル安達内相ハ、今回ノ如ク多クノ醫事法案ヲ提出サレテ居リマス、是ハ悉ク吾々ハ政黨派ヲ超越シテ贊成シナケレバナラヌト思ッテ居ル、唯微温的ニ流レ、遂ニハ法ノ威力ヲ疑ハレルコトガアッテハ

困リマス、吾々ハ茲ニ完全ナル國民ヲ作ッテ、社會ノ進歩發達ヲ圖リタイト考ヘマスガ故ニ、近キ將來ニ於テ衛生省新設ノ意思アリヤ否ヤヲ齋藤次官ニ御尋致シマシテ、私ノ質問ハ一先ヅ打切ッテ置キマス

○齋藤政府委員 御説ノ如ク國民ノ衛生思想ガ普及致シマシテ、國民ガ舉ゲテ健康ニナルカ、若クハ虛弱ニナルカハ、國家ノ進運ニ非常ニ重大ナル關係ヲ持ツコトハ、御互ニ承知シテ居ル所デアリマス、個人トシテモ健康ガ第一デアリ、國家トシテモ健康ナル國民ヲ以テ組織シテ居リマス國家ハ、活動力ガ増進スルコトハ分リ切ッタ事デアリマス、故ニ政府ニ於キマシテモ、殊ニ今回ノ議會ニ於キマシテハ、衛生ニ關スル法案ガ隨分澤山アリマシテ、是ガ爲ニ衛生局長ハ非常ニ忙シクシテ居ラレルヤウナ始末デアリマスノデ、出來得ル限り衛生思想ヲ普及セシムルト同時ニ、其實績ヲ收メタイト思ッテ居リマス、併シ昨日モ申シマシタヤウニ、何ヲスルニモ金ガ基ニナリマスノデ、國家財政ノ現狀ニ照シマシテ、是ガ爲ニ十分ナル金ヲ費スコトガ出來ナイノハ甚ダ遺憾デアリマス、只今衛生省ヲ

拵ヘル意思ガ政府ニアルカトノ御尋デアリマスガ、衛生ニ限ラズ、社會局ノ方ニ於キマシテモ、段々ト社會事業ガヤカマシクナリマシテ、今日世界各國ノ政治ノ中心ハ社會政策ニ在リト言ハレテ居ル位デアリマスカラ、社會局ノ事業モ益々殖エテ來ルノデアリマス、是ガ爲ニ社會省ヲ拵ヘロト云フヤウナ意見モアリマスガ、ソレト同ジヤウニ、衛生省ヲ設ケテ獨立ノ一ツノ行政廳トシテ、衛生ニ關スル大目的ヲ達スルヤウニスルコトハ、大事ナ問題デアリマスガ、マダ現在ノ政府ニ於テハソコマデ考ヘテ居リマセヌ、又實際問題トシテ攻究シタコトモ私ノ知ル限りニ於テハナイノデアリマス、併シ御趣旨ニハ極メテ同感デアリマスカラ、幸ニ此議會ニ於キマシテ、議員ノ方カラサウ云フ御話ガ出タコトハ、永ク記録ニモ止マリマスシ、現在及將來ノ政府ニ於キマシテモ、十分重キヲ置イテ此方面ニ向ッテ考慮スルダラウト思ヒマス、繰返シテ申シマスガ、現在ニ於キマシテハ、衛生省ヲ設ケルト云フコトハ話ニ上ッテ居リマセヌ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○中崎委員 第一條ノ蛔蟲病、十二指腸蟲病、住血吸蟲病、肝臟「ヂストマ」病ト云フ、此四ツノ全部ニ對シテ本法ヲ施行スル積リデアルカ、或ハ其中デ

最モ重キヲ置イテ先ニスルモノガアルノデアルカ、此點ヲ伺ヒタイ

○高野内務技師 第一條ニアリマス四種類ノ寄生蟲全部ニ向ッテ、本法律ヲ適用スル積リデアリマス

○中崎委員 ソレニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマスガ、是ハ外務省關係ノ問題デアリマスケレドモ、移民ニ對シテ檢便ヲスル、所謂十二指腸蟲ノ有無ヲ檢査スルト云フコトデアリマスガ、ソレハ衛生局ノ方デ大體御分リニナッテ居リマスカ、若シ御分リニナッテ居レバ、今日ノ所ドウ云フ程度ニナッテ居ルカ、亞米利加ニ移民シヨウト云フ人デ、檢便サレテ、隨分迷惑シテ居ル人ガアルコトヲ聞イテ居リマスガ、其模様ハ如何デアルカト云フコトヲ、御承知ノ範圍デ宜シイカラ、伺フコトガ出來レバ大變結構デアリマス

○高野内務技師 外國ニ行キマスル移民ガ寄生蟲ヲ持ッテ居リマス爲ニ、時々上陸不可能ニ陥ルコトガアリマシテ、之ニ備ヘル爲ニ移民檢査所ニ於キマシテ、又一部ハ移民收容所ニ於キマシテ、此檢査ヲ致シテ居リマス、殊ニ伯刺西爾ニ參リマス農村ヨリノ移民ハ、寄生蟲ヲ持ッテ居ル者ガ多イノデアリマシテ、其蟲卵ノ保有率ハ、從來農村保健衛生調査ニ於テ調べマシタ農村ノ寄生率ト、大體似テ居ルノデゴザイマス、

只今其數字ノ資料ヲ持ッテ居リマセヌカラ、後カラ差上ゲルコトニ致シマス

○中崎委員 只今ノ御説明ハ其程度デ分リマシタ、第三ニ政務次官ニ御伺致シテ置キマスガ、今回政府ガ提出サレマシタ衛生組合法ガ實施サレル場合ニナリマシテ、本案ガ若シ之ヲ實施スルト云フ時ニナリマス、衛生組合法ト本案トノ運用上ノ關係ヲ、政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルカ、所謂衛生組合ノ活動ト俟ッテ、サウシテヤハリ本案ノ運用ト云フヤウナコトニマデ及ボス御考デアルカドウカ、ソレ等ノ關係ヲ一寸承知致シタイ

○齋藤政府委員 衛生組合法ハ、只今貴族院ニ於テ審議中デゴザイマシテ、遠カラズ衆議院ノ方ニ廻ッテ來ルモノデアルト思ヒマスガ、御承知ノ如ク衛生組合法ハ、此處ニハ案ヲ持ッテ居リマセヌガ、是ハ衛生組合ガ出來マシテ、サウシテ衛生組合ノ中デ組合長、副組合長其他ノ役員ヲ選舉致シマシテ、ソレ等ノ者ガ此組合ノ機關トナッテ、衛生上ノ仕事ヲスルト云フヤウニ相成ッテ居ルノデアリマス、此寄生蟲豫防法ハ、此處ニ書イテアリマスヤウニ地方官、是ガ其何ト申シマスカ、此法律ヲ行ヒマス所ノ主タル責任者デアリマシテ、第四條ニ依リマシテ、市町村ハ地方官ノ指揮ニ從ッテ豫防及ビ、治療ニ

關スル施設ヲ爲スト云フヤウニナッテ居リマスケレドモ、衛生組合法ト寄生蟲豫防法トハ、之ヲ施行スル所ノ主體ガ違フノデアリマス、違ヒマスカラシテ、實際ノ實務ニ當リマシテハ、ヤハリ同ジ衛生上ノ事デアリマスカラシテ、關聯シテ仕事ガ起ッテ來ルコトガアルカモ存ジマセヌガ、法律ノ建前ハ全ク違ッテ居ルノデアリマス、衛生組合法ヲ施行シ、寄生蟲豫防法モ施行スルト云フコトニナリマス、ト云フ起ッテ來ルダラウト思ヒマス、併シ行フ人間ガ違ヒマスカラシテ、其處ダケハ御含ミヲ願ッテ置キマス、ソレカラ一寸附加ヘテ置キマスガ、衛生組合法ハ御承知ノ通り市ダケニ行ヒマス、殊ニ全部ノ市ニ行フノデハナイ、決シテ強制的ニ行フノデハナイノデアリマシテ、現在ノ都市ニ於キマシテモ、町會トカ、其外ノ衛生組合ガアリマシテ、ソレ等ノモノガ十分ニ衛生上ノ仕事ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、衛生組合法ハ行ヒマセヌ、衛生上ノ施設ガ甚ダ不完全ナル所ニ於テ、或市内ノ地域ニ限ッテ、サウシテ此地域ニ在ル所ノ將來組合員トナルベキ者ノ二分ノ一以上ノ多數ガ承知致シタ場合ニ於テ之ヲ行フト云フヤウニナッテ居リマスカラシテ、大分寄生蟲豫防法ト

ハ、其點ニ於キマシテモ、行フ地域ノ廣狹、竝ビニ強制的ニ行フノト、任意ニ行フノト、斯ウ云フヤウナ區別ガアリマスカラ、之ヲ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○中馬委員長

此際私カラ少シ質問ヲ致シタイト思ヒマス、専門ニ屬スルコトハ、専門ノ方カラ御答辯ヲ願フタラ結構ト思ヒマス、質問ニ先チマシテ、昨日農事トノ關係ニ付テ御尋ヲ致シマシタ所ガ、内務省衛生局カラノ依頼デ、大宮ノ農事試験場ノ「オーソリーチ」ガ實驗サレタ實驗報告ヲ頂戴致シマシタ、之ニ依リマスト肥料價値ニ於テハ少シモ變ラナイ、或ハ分解が始ラテ居ルカラ、肥料ガ早ク利クヤウナ報告デアリマシテ、此報告ヲ信ジテ、此糞便ヲ貯藏スルト云フコトガ、肥料價値ヲ害スルモノデハナイト云フコトヲ了承致シマシタ、ソレカラ次ニ質問致シタ

イノハ、只今中崎君ノ質問ニ對スル御答辯ニ、此四ツノ寄生蟲ニ對スル豫防ヲ同時ニ施行スルト云フ御話デアッタノデスガ、是ハ別々ニ施行スルコトモ出來ルヤウニハナラスカト思フノデアリマスガ、是ハ省令デ御作リニナッタラ宜クハナイカト思ヒマス、只今野方君ノ御質問ニ依ッテ、學校兒童ノ九十八「パーセント」以上ノ蛔蟲ハ、是ハ全國到ル處デ是位ノ「パーセンテーヂ」ガ

アルヤウデアリマス、ソレカラ農村ハ分リマセヌガ、都會ニ集ッテ來ル死體解剖——私ハ外ニハ知りマセヌガ、大阪ノ醫科大學ニ集ッテ來ル死體解剖ノ結果ヲ見マシテモ、ヤハリ九十八「パーセント」以上、外ノ病氣デ亡クナッテモ、腸ノ中ニハ蛔蟲ガ居ル、是ハ食物ト肥料其他ノ關係ノ違フ所デアリマシガ、獨逸ノ伯林デ大正四年カラ二年間

實ハ私ノ伴デアリマスガ、ソレノ調査ニ依リマスト、百分ノ二ハ逆モナイ、百分ノ一カラ二迄ノ間ニ、蛔蟲ヲ發見スルダケノ、蛔蟲ガ腸ノ中ニアルト云フコトハ、非常ニ珍シイト云フコトヲ承ッテ居ル、蓋シソレハ食物、肥料其他ノ關係デ、サウナッテ居ルコト、思ヒマス、幸ニ蛔蟲ニ向ッテハ「サントニ

劑」マクニン「劑」等色々ノ藥ガアリマスカラ、其治療ハ極テ容易ナモノデアリマス、斯様ナモノハ文部省ガヤッテ居ラレルカドウデスカ知リマセヌガ、小學校ニ於テ蛔蟲驅除劑ヲ作ッテヤッテ居ル所モアルヤウデアリマス、内務省ハ内務省ノ方デ獎勵ヲサレマシタラ、地方費デ小學校ノ兒童ダケハ樂ニ行クコト、思ヒマス、小學校ノ校醫ガ糞便ノ検査ヲ致シマス時ニ、蛔蟲ノ序

業迄ニ十二指腸蟲モ驅除シ、大シタムヅカシイモノデナイト思ヒマス、斯様ナモノハ寧ロ文部省ト内務省トノ間ニ御相談ガアルカ、或ハ内務省ガ主トシテ此豫防法デ御ヤリニナッテ、少クモ小學校ノ兒童ダケノ能率ヲ高メル爲ニ、蛔蟲、十二指腸蟲ダケハ、全國ノ小學校デ無クスル位ノコトハ、是ハムヅカシイコトデアアルマイト思ヒマス、小學校カラ先ニヤッテ、其次ニハ公集團

體デアアルトカト云フヤウニシテ行キマスレバ、全國一齊ニヤルヨリハ、ボツボツヤッテ行ッテ、遂ニ全國一齊ニスルト云フ方法ニスレバ、費用モ少クテ至極樂デアアルマイト思フ、「ルンゲン・ヂストマ」其他ノ寄生蟲ハ、多クハ地方々々ノ病氣ニナッテ居リマスカラ、

地方ト能ク協調ヲシテ、漸次豫防法ヲ施行スルト云フコトニナサイマシタナラ、一緒ニヤルヨリハ餘程樂ニ行クト思ヒマスガ、ドウ御考ニナッテ居リマスカ、其點ニ付テ……
○高野内務技師 法律ヲ施行致シマスルコトハ、全國平等ニ參リマストコトト存ジマスルガ、實際ノ事實ハ、只今仰セノヤウニ、必要ナル地域等ヲ選定致シマシテ、ソレハ實際ニ適合シタヤウナ施設ヲ致スヤウニナルノデアラウカト存ジマス

○野方委員 經費ハ極メテ少イヤウニ聽イテ居リマスカラ、差當リ八百萬ノ兒童ヲシテ、先ヅ「マクニン」一個五錢トシテ、四十萬圓デ出來マスカラ、是ハ地方費デ十分ニ足ラナケレバ、政府ノ補助デ以テヤルト云フコトニシテ、小學兒童カラデモ宜イカラ先ニ御始メヲ願ヒタイ

ソレカラ一寸御伺ヒ致シタイノハ、今寄生蟲ハヤハリ野蠻國ニ多イノデ、我國ニ對シテハ大分減ッテ居リマシテ、我國ハ三十種バカリアル、ソコデ防疫課長ニ伺ヒマスガ、是モ本法ニ準ジテ施行シテ戴キタイ、尙ホ根本ノ糞槽ノ改良ハ、是ハ最モ必要デアッテ、此醜醉ヲ起ス設備ハ、今後益々多カラシコトヲ希望シマスガ、是ハ一千萬戸トシテ十圓ヅ、トシテモ、一億圓必要デア

カラ、是ハ半分位國庫ガ補助シテ完成スルヤウニシタイ、尙ホ地方費ノ補助ハ極メテ少イヤウデアリマスカラ、是ハモウ少シ殖ヤシテ戴クコトハ出來マセスカ、之ヲ御伺致シマス
○高野内務技師 只今ノ寄生蟲ノ種類ノ點ダケヲ、私カラ申上ゲテ置キマスガ、此法律ニ出テ居リマスル蛔蟲、十二指腸蟲、住血吸蟲、肝臟「ヂストマ」ノ外ニ、旋蟲類デハ鞭蟲、東洋毛様旋蟲、蟯蟲、絲條蟲及肺臟「ヂストマ」、横川氏「メダコギズム」、蟻蟲類ニ於テ

ハ廣節裂頭蟻、無鈎蟻、有鈎蟻、倭小蟻、先ヅ以上ノモノガ最モ普通ニ見ラレルモノデゴザイマシテ、此他ニモ地方的ニ或ハ種々ナル寄生蟲ガゴザイマセウカトハ存ジマス

○中島委員 一寸御同致シマスガ「ジストミヤチス」ニ對シテハ、山梨縣ニ於テ豫防撲滅施設ガ出來テ居リマス、可ナリ國庫カラモ補助ガ出テ居ルヤウデアリマスルガ、ヤハリ肝臟「ヂストマ」ノ如キ、地方的ニ非常ニ多イ寄生蟲ヲ、其府縣ガ若シ其豫防策ヲ講ズル場合ニハ、國庫ハ相當額ヲ、ヤハリ「ジストミヤチス」ト同様ノ補助ヲ爲サル御意思ガアルノデセウカドウカ

○赤木政府委員 此法律ニ依リマシテ、將來補助ヲ致シマス際ニハ、大體之ニ定メテアリマス率ヲ補助スルト云フコトニナラウト存ズルノデアリマス、此法律ノ率以上ニ、殊ニ或者ニ對シテ多クノ率ヲ出スト云フコトハ、是ハ困難カト存ジマス、現在山梨縣ノ豫防方法ニ付キマシテ、國庫カラ特別ノ補助ガ出テ居リマスガ、是ハ此法律ノ成案以前カラ出テ居リマスノデ、今俄ニ之ヲ減額スルコトモ困難デアラウト存ジマスノデ、當分豫算ノ範圍内ニ於テ繼續スルノ已ムラ得ナイコト、存ジマスガ、他ノモノニ付テ、山梨縣ト同等ノ率ヲ以テ補助ヲ致スコトハ、困難

カト存ジマス、尙ホ先刻補助ニ付キマシテ、例ヘバ改良便所ニ對スル補助ノ如キヲ、國庫及ビ地方費ニ於テ増額スルコトハ出來ナイカ、斯ウ云フ御質問モゴザイマシタガ、是モ結局ハ國及ビ地方團體ノ財政状態ノ如何ニアルト存ジマスガ、差當リノ所デハ、新ニ豫算ヲ取ルコトモ困難ナ狀況デアリマス

シ、現在ノ豫算デアルヨリ外仕方ガナイト存ジマス、尙ホ將來豫算ガ取レマシテモ、大體此法律ニ豫定シテ居ル補助賄テ行クヨリ致方ガナイト存ジマス、此率ヲ増スコトハ、他ノ各種ノ傳染病ナドニ對スル關係モアリ、中々困難カト思ヒマス

○赤木政府委員 將來ハ此法律ニ依ッテ大體補助ヲ致シテ行クコトニ致シタ

イト存ジテ居リマス ○中馬委員長 此機會ニ此案トハ大シク關係ハ無イト思ヒマスガ、専門家ガ斯ク御集リニナル機會ガ少ナイノデアリマスカラ、此機會ニ私カラ衛生局竝ニ政府ノ御考ヲ承リタイト思フコトハ、是ハ建議案トシテ昨年モ本年モ私カラ出シマシタガ、兎角建議案ハ虐待サレマシテ、何時上程サレルカ分ラヌヤウナ状態ニナッテ居ルカラ、此機會ニ政府ノ御考ヲ聽キタイノデアリマス、ソレハ産兒制限ニ關スル問題、是ハ單リ衛生局ノ問題デナク、社會局ノ問題トモナリマスガ、産兒制限ヲ今直チニ或國ガヤッテ居ルヤウニヤルコトハ、色々ノ障礙ガアルカト思フノデス

ハ、九千萬、一億ニ垂ントスル國民ノ中デ、遺傳病ヲ持ッテ居ル者ガ相當多數アルノデアリマス、或ハ精神病ノ遺傳ヲ持ッ者、或ハ微毒「ヒステリー」其他酒精中毒、莫見必涅中毒ノ子孫ト云フヤウナ遺傳病ヲ持ッテ居ル者デ、國民ノ一人トシテ義務ヲ果シ得ナイ人ガ澤山アルト思フ、癩患者モ其一人デア

ル、又肺結核重症者モソレデアアル、斯様ナ人達ガ社會ニ迷惑ヲ及ボシ、社會ノミナラズ、自分ノ家族其他ニ迷惑ヲ及ボスコトモ相當多イダラウト思フ、吾々ハ知識階級ノ人、勞働力ノアル人ガ、多數ニ出來ルト云フコトデア

バ、何億萬ノ國民ガ出來テモ是ハ宜シイガ、優生學ノ上カラ、ドウシテモ或ル遺傳病ハ減サナケレバナラスト云フコトガ、直チニ來ルベキ問題デアラウ、亞米利加ハ州ニ依ッテ法律ガ違ヒマスガ、亞米利加ハ多クノ州ニ於テ、ヤハリ結婚制限法ヲ設ケテ居リマス、是ハ嚴重ナ法律デ、之ヲ刑罰マデ付シテヤッテ居リマス、ソレカラ諾威、瑞典、丁

抹モ確カサウデアリマシタカ、北方歐羅巴ノ方デモ、ヤハリ亞米利加ニ類似シタ法律ヲ以テ結婚ノ制限ヲ致シテ居リマス、是ハ遺傳病ヲ持ッテ居ル者ニ對シテデアリマス、拉丁民族デハ餘リ此制限法ト云フモノハ法律デヤッテ居ナイヤウニ、能ク分リマセヌガ、併シ法律デハヤッテ居ナイヤウニ思ハレマス、其代リニ青年會トカ、婦人會トカ、其他ノ團體ニ於テ、結婚以前ニ於テ斯ノ如キコトヲシナケレバナラストカ、或法律デ結婚ヲ制限シテ居ル國以上ニ個人ノ反省ヲ俟ッテ、結婚ノ相手方ノ選擇ヲスルト云フコトヲ教ヘテ居リマス、ドウシテモ我國ニ於テモ左様ニスルコトガ國家ノ利益デアリ、又其個人ノ利益デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ日本デハ結婚ノ制限ハ唯

年齢ハ女ハ十五歳以上デナケレバナラストカ、男ハ十七歳以上デナケレバナ

ラストカ、或ハ何等親デアリマスカ、

シウゴザイマスガ、承リタイ

スノデ、當局ニ於キマシテモ、保健衛生

ラウト思ヒマスガ、斯様ナ問題ハ外國

叔父姪ノ間ノ結婚ヲ禁ズルト云フ程度

御話ノ如ク歐米ニ於テモ既ニ多年ノ間

調査會ノ中ニ民族衛生ニ關スル特別委

ニモ澤山例ノアル問題デアルノデアリ

ニ止メテ居ッテ、血族ト年齢ダケデ制限

題ニナッテ居ルコトデアリマス、又當

員ヲ設ケマシテ、其特別委員會ニ於キ

マス、又特別委員會モ三年モ四年モ掛

ラシテ居ルノデスガ、今後ニ於テハ遺

局ニ於キマシテモ、此問題ハ從來研究

マシテ、是等ノ問題ヲ研究シテ貫ッテ

カラヌデモ、結論ニ到達シサウナモノ

外科手術ヲ行フ、外科手術ト申シマス

ヲ致シテ居ルコトデアアルノデアリマ

ノ進行ノ程度ニ於キマシテハ、之ヲ如

ト思ヒマスガ、何時デモ調査々々デ、

ト、先ヅ只今デハ去勢術デナクテ、整

ス、既ニ昭和二年デゴザイマシタカニ、

何ナル程度ニ於テ實行スベキヤ、又實

ハ一年ニ百萬ガ、殖エテ行ク、其百

形、男ハ精液ヲ運ブ管、ソレヲ絲デ括

日本醫師會ニ對シマシテモ、民族衛生

行スベカラザルヤト云フ、具體的ノ結

論ニ達シテ居リマセヌノデアリマス、

ルダケノコトデアアル、手術トシテハ男

ノコトニ關シマシテ、民族衛生施設ニ

大體ノ抽象論ト致シマシテハ、御説ノ

デアリマスガ、サウ云フ帶患者ガ澤山

子ナラバ、熟練シタ人ハ十分カ十五分

關スル意見ト云フコトヲ諮問ニナリマ

シテ、其答申ガ出テ居ルヤウナ次第デ

出來ルト云フコトデアレバ、是ハ優生

デ兩方トモ致シマス、女子ナラバ二十

アルノデアリマス、其答申ノ施設ニモ、

如ク所謂惡疾遺傳ノ虞アルヤウナ者ニ

ノデアリマス、成ベク早ク其調査ノ完

分カ三十分以内デ兩方ノ手術ガ完了シ

只今御述べノヤウナ、所謂帶患者ニ對

シテ何等カノ方法ノ講ズル必要アリト

了ヲ望ミタイト思フノデアリマス、國

テ、何等ノ危險ナク出來ル手術デアリ

云フヤウナ、意味ノ答申モ出テ居ルノ

ルガ、是ハ別問題デアリマスガ、左様

結構ナコトデアアル、近來又産兒ヲ調節

マス、ソレデ結婚ノ目的ガ子孫ヲ繁榮

デアリマス、唯此問題ハ色々困難ナ問

題ガ伴フノデゴザイマシテ、殊ニ段々

ナルト云フヤウナコトモ、新聞雜誌デ

的ヲ達シナイノデアリマスガ、所謂戀

ト、此所謂人權ノ發達ヲ致シテ居リマ

スル所ニ於キマシテハ、法律ヲ以テ之

ヲ讀ミ雜誌ヲ味ウテ、自分デ實行スル

愛至上主義ト云フモノトハ、衝突シナ

スル強制スルト云フヤウナコトハ、餘程

ノデ、ソレ等ヲ十分研究致シマシタ上

ル、知識階級ノ子供ハ、健全デサヘア

イヤウニ出來ルノデアリマス、結婚ノ

目的ノ一部ハソレデ達セラレルノデア

レバ、成ベク殖エルコトヲ希望シテ居

ルノデアアルガ、ソレヨリハ多クノ産兒

云フ者ガ、若シ結婚ヲスルトカ、或ハ

併ナガラ一面此遺傳的素質ヲ持ッテ居

ルヤウナ人間ノ繁殖スルト云フコト

ス

其外科手術ヲ行ッテ、正式ノ結婚ヲサ

ハ、是ハ國家トシテモ、社會トシテモ、

ノ御意見ヲ承ッタコトモアッタノデス、

人々ハ雜誌ヲ見ルコトモ致シマセヌ

スト云フコトニシテヤッテ、其子孫ガ出

何トカシナケレバナラヌト云フコト

其時分ニモ只今衛生局長カラ承ッチャ

シ、新聞ヲ味フ知識ノ無イ人、是ニハ

來ナイヤウニスルコトガ必要デハアル

ハ、御説ノ通りデアラウト存ズルノデ

ウニ、マア當分ハ國民ノ自覺ニ俟ッヨ

リ仕方ガナイト云フヤウナ御話デアッ

マイカ、ソレデ病氣ノアル者、帶患者ノ

傳バカリデナク、現時所謂産兒調節ノ

サウデアリマスカラ、其報告ガ參ルダ

ノ力デ、ソレ等ニ相當ノ教育ヲシナケ

結婚ヲ制限スルト云フ法律ヲ、近イ將

來ニ御出シニナルト云フ意思ガアリマ

スカ、ソレニ對シテモ御感想ダケデ宜

問題ガ、實際ニ色々論議サレテ居リマ

レバナラヌト思ウテ居ルノデアリマ
ス、此頃ノ新聞ヲ見マシテモ、夕刊ノ
小説ノ近邊ニハ「月經下シ」ト云フヤウ
ナ廣告ヲ澤山見受ケル、是ハ産兒ヲ未
然ニ防グ所ノ「月經下シ」デナクテ、妊
娠シテ、ソレヲ墮胎スル目的デ、ソレ
ニ相談ヲシタリシテ、ソナナ藥ヲ服ム
人ガ多數ニアラダラウ、是ハ想像デア
リマヌガ、アルダラウト思フテ居リマ
ス、又内務省ノ方針トシテハ、墮胎藥
トカ或ハ避妊劑ト云フ物ヲ賣ルコトハ
堅ク禁ゼラレテ居ル、避妊ニ關スル「ル
ーデサツク」ハ黙ッテ見テ居ルガ「ルー
デサツク」以外ノ藥品又ハ器具ヲ使フ
コトヲ、今度又新ニ禁ゼラレタヤウデ
アル、サウスルト今政府ガ行ッテ居ル
方針ト、國民ノ必要ヲ感ジテ居ル所ト
ハ、大變間ガアルダラウト思フ、先年
私共ノ同僚或ハ後輩ノ人ガ、墮胎事件
デ澤山刑事上ノ責任ヲ負ウタコトガア
リマシタ、ソレハ相當ノ婦人科ノ大家
デ、大病院ノ婦人科ノ主任デ、一緒ニ
共犯ヲヤッタラシイ、是ハ非常ニ惡イ
コトニ違ヒナイ、國ノ法律ヲ犯スト云
フコトハ、吾々共モ決シテ善イトハ申
シマセヌガ、社會ノ必要ハ其處マデ來
テ居ル、隨分澤山ナ金ヲ使ッテモ、
産兒ヲ調節シタイト云フ必要ニ迫ラレ
テ居ルノダト私ハ思ウテ居ル、其産兒
ヲ墮胎スル以前ニ、相當ナ何カ法律ヲ

以テ、或ハ法律ニ俟タヌデモ、相當ナ
道グ道ヲ作ッテヤルト云フコトガ必要
デナカラウカト思フ、只今ノ所デハ避
妊劑デアリマヌト云ウテ賣レバ、直グ
ソレハ發賣禁止ニナルノデアリマス
シ、避妊藥ハ私ノ方デ教ヘテ上ゲマス
ト言ッテモ、是ハ罪セラレルヤウデア
リマス、避妊器ハ一切許サナイト云フ
コトニナルト、是ハ産兒制限ト云フコ
トヲ口デ唱ヘテ居ッテ、實行ガ出來ナ
イト云フコトニナルノデヌガ、之ニ對
スル御考ヲモウ一ツ伺ッテ置キタイト
思フ

○赤木政府委員 所謂産兒制限ノ問題

デアリマスルガ、産兒制限自體ハ認ム
ベキモノデアルカ、認ムベカラザルモ
ノデアアルカト云フコトハ、是ハ研究ヲ
要スル問題デアラウト存ジマス、現在
ノ所、所謂妊娠ヲシナイト云フコトハ、
是ハ犯罪罪デハナイノデアリマスカラ、
無論妊娠シナイ策ヲ講ズルト云フコト
ハ差支ナイ譯デアリマス、唯所謂民族
衛生ノ上カラ申シマシテ、遺傳的素質
ヲ持ッテ居ルヤウナモノガ妊娠ヲシナ
イト云フコトハ、之ヲ勸メルベキデア
ルト存ジマスノデ、當局ニ於キマシテ
モ、色々ノ機會ニ於キマシテ、例ヘバ
衛生健康ニ關スル展覽會等ニ於キマシ
テモ、遺傳ノ恐ルベキコトヲ教育ノ意
味ニ於テ、色々ノ方法デ知ラスコトニ

努メツ、アルノデアリマス、唯所謂産
兒調節ト云フモノガ、サウ云フヤウナ
意味デナクシテ行ハレルコトノ方ガ、
寧ロ多イノデアリマシテ、之ヲ輕々ニ
認メルト云フコトハ、餘程研究ヲ要ス
ル問題デハナイカト思フノデアリマ
ス、國家ト致シマシテモ、斯ウ云フ風
ガ非常ニ瀾漫スルト云フコトニナリマ
スレバ、其影響モ考ヘナケレバナラナ
イコトデアラウト存ズルノデアリマ
ス、例ヘバ佛蘭西ノ如キ、或ハ伊太利
ノ如キ、從來其弊ニ苦シミマシテ、今
日ハ如何ニシテ其弊ヲ矯メルカト云フ
コトヲ、政治家ガ一生懸命努力致シテ
居ルヤウナ狀況デアアルノデアリマス
カ、是等ノ諸國ノ過去ニモ能ク鑑ミマ
シテ、日本ト致シマシテハ之ニ對シテ
如何ナル政策ヲ採ルベキカト云フコト
ヲ、十分ニ研究ヲ致サナケレバナラナ
イト思フノデアリマス、現在ノ所避妊
用器具等ヲ禁止致シテ居リマスノハ、
其器具自體ガ衛生上危害ヲ及ボス虞ガ
アリマス、例ヘバ避妊「ピン」ニ致シマ
シテモ、或ハ子宮内ニ挿入致シマス所
ノ色々ノ器具ノ如キモノハ、之ヲ素人
ガ用ヒマスル爲ニ、往々ニシテ測ラザ
ル危害ヲ受ケテ居ルノデアリマス、避
妊「ピン」ガ腹膜ニマデ貫通シテ、サウ
シテ腹膜炎ヲ起スト云フヤウナ實例ガ
往々ニシテアルノデアリマス、サウ云

フ實例カラ考ヘマシテ、衛生上危害ヲ
及ボス虞ノアル避妊用ノ器具ハ、之ヲ
禁止スルコトニ致シタノデアリマス、
ソレヲ禁止致シマスルコト、妊娠調
節自體ノ問題トハ、是ハ別個ニ考フベ
キ問題デアラウト存ジマス、其方ニ付
キマシテハ、マダ今日研究中デアアル次
第デアリマス

○中馬委員長 本日ハ是デ質問ヲ打切

リマシテ、明日午後一時カラ開クコト
ニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後三時十一分散會